

第19回 東海財界倶楽部例会 岩城正光氏を招いて講演を開催



講演する岩城正光氏



乾杯の挨拶をするグリーンテック中島宗幸会長

二月二十一日、十八時三十分、ホテルオークラレストラン光の間において、第一九回東海財界倶楽部例会が行われた。

第一部の講演会には、前名古屋副市長岩城正光氏を招いて「なぜ市長選に出馬するのか」と題する講演を行った。平成二十五年六月六日に副市長に就任した岩城氏は、二十三年に名東区で中学生が虐待死

した事件が起きました。私はその八年前から国の専門員をやっていました。そこでは、全国の虐待死事件の検証を手がけており、その経験を生かし、『私を検証員にしてくれないか』と河村市長に手紙を書きました。その理由としては、名古屋市は一〇年間毎年一人ずつ、虐待死事件が起きていました。その報告書を調べてみると、毎年同じ様なことしか書かれていませんでした。これでは一向に改善することはないと考えてのことでした。私の訴えが通り、検証員として活動をしていました。その後河村市長の目に留まったのか、『副市長をやってくれないか』と頼まれました。副市長をやるのであれば、これまでやってきた事務所等を整理しなければならぬ。悩んだ末に受けました」

平成二十八年五月二十三日に解職されそして、『何のための三年間』だったのか、名古屋市をこのままにしてはいけぬと考え出馬を決めた。

講演の後、親睦会へ移り、今年初の例会は幕を閉じた。